

農水省跡地利用施設建設基本計画策定委員会（第4回）会議要録

日 時 平成16年10月18日（月）午後6時30分～9時

場 所 武蔵野市役所802会議室

出席者 細野委員・清水委員・鈴木委員・川原田委員・古田土委員・  
永並委員・川邊委員・檜山委員・藤井委員・小森委員・  
南條委員、その他（幹事会委員、事務局）

1. 開会

【事務局】資料確認。

第3回策定委員会会議要録

施設機能の検討

配置計画案

管理運営基本方針

農水省跡地利用施設建設基本計画策定委員会の報告書について

中間まとめ骨子

武蔵境駅舎・周辺環境整備基本設計（平成16年9月13日鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会資料）

参考資料ICタグ（三田図書館情報学会資料より抜粋）

参考資料ICタグ（日経コンピューターより抜粋）

2. 議事

（1）第3回策定委員会会議要録の確認

事務局より「第3回策定委員会会議要録(案)」について説明

【委員長】各委員のほうで何か変更したい点はあるか。

【各委員】承認する。

【委員長】第3回策定委員会会議要録については、11月1日より、市ホームページ、及び市政資料コーナーで公開していく。

（2）施設機能の検討

【委員長】施設機能について、前回課題となった部分を中心に説明をお願いしたい。

【事務局】資料「施設機能の検討」について説明

図書館機能 施設全体を図書館ととらえ、館内自由に本を持ち歩けるようにする。カフェ、学習スペースでの読書、研究も可能となる。本の管理については、ICタグ、BDS（ブック・ディテクション・システム）を用いる。新聞・雑誌コーナー（軽読書コーナー）は、質、量とも充実を図る。

「会議・研究・発表」のための施設 個人の学習や研究の場として学習ブースを、グル

ープでの学習、研究等は小さな会議室（ルーム\*\*）を活用する。講座、イベント等は大  
きな会議室（フォーラム）を活用する。

「創造・練習・鑑賞」のための施設 スタジオの構成は、バンド専用の音楽スタジオと  
多目的に使用できるスタジオとする。多目的スタジオは演劇・ダンスのほか、美術活動や  
ギャラリーとしての使用も可能。隣接して、専門的な図書等を配置する。

「交流」のための施設

ワークルームで行う市民活動支援の対象を、生涯学習を展開するグループ中心に考える。  
また、生涯学習の間口は学生のグループを含めるなど、広くとらえる。

その他の諸施設 駐車場、駐輪場は条例等に沿って設置する。

施設と公園との一体性、自然との調和 建物は西側のケヤキ等の高さや武蔵境駅舎との  
バランスを考慮する。公園は、イベント等ができ、施設で実施する事業と連携がとれるよ  
うにする。また緑、水に留意し、武蔵境駅周辺のまちづくりとも連携をとる。

【委員長】質問、意見があればいただきたい。

【委員】本を館内どこにでも持ち運べ、読書できるという基本方針は賛成だ。

【委員】図書の管理については、利用者のマナー、ルールが最低限必要だ。

【委員】新聞、雑誌は、コーナーで読んでもらう形がよい。

【委員】館内で本を持ち歩けるという考え方は賛成だが、図書館側からすると、管理がたい  
へんだ。ソフト面のフォローが必要だ。

【委員】本を一括して管理できるシステムを検討しないといけない。

【委員】BDSをどのように設置するかという点と、BDSが反応した際の対応等も考えて  
いく必要がある。

【委員】創造・練習・鑑賞としてのスタジオの活用範囲は、生涯学習の範囲としていくのか。

【事務局】そうだ。

【委員】スタジオは防音か。

【事務局】バンド用スタジオは完全防音で、多目的スタジオもある程度配慮していく。

【委員長】施設機能の基本的な部分は、ほぼこの方向で進めさせていただきたい。

### （３）配置計画案の検討

【委員長】配置計画案について川原田委員から説明をお願いしたい。

【委員】配置計画案の図面はあくまで、機能を配置する上でのスタディと考えていただきた  
い。また、机、イスの配置や数、公園デザインも仮に示しただけだ。

1階（仮称 プラザ） カフェ、ラウンジ等のリラックスできるスペースと、情報コンシ  
ェルジュ、情報ブラウジングコーナーを設け、全館のインフォメーションセンターのよう  
な機能を持つフロアとする。

2階（仮称 サブライブラリー） 児童図書と一部の専門図書、事務室等で構成する。そ  
の他、託児室と、対面朗読室、録音室を配置する。

3階（仮称 市民オフィス） 市民の第2の書斎として、自由に勉強ができる市民オフィス、NPOや市民活動の支援に使うロッカー等を備えたスペース、そしてルーム70、50、20といった小会議室を備える。

4階（仮称 フォーラム） フォーラム等が開ける会議室を設ける。また、武蔵野市の著名な方の情報や、フォーラムで講演等をされた方の研究等を収集し、市民に提供する武蔵野アーカイブスという場を設ける。新聞・雑誌のコーナーは、ワールド・マガジン・ラウンジという名称とし、一番快適な場所に配置する。公園側には屋上庭園をつくり、快適なスペースとする。

地下1階（仮称 メインライブラリー） 一般図書とレファレンスカウンター、図書の整理スペース、及び閲覧スペースで構成する。

地下2階（仮称 スタジオ） いろいろな大きさのスタジオを用意する。スタジオ25（数字は面積を表す）は、バンドの練習ができる部屋で完全防音とする。

【委員長】配置計画案について、意見を伺いたい。

【委員】3階のプリント工房はどんな使い方が。

【委員】市民活動の印刷室という考え方だが、もう少し拡張して、音楽スタジオを利用する若者のライブのチラシを作成するなど、情報発信の機能も考えられる。

【委員】ロッカースペースの使い方は。

【委員】ロッカーは、NPO等市民団体が常時借りていて、必要な文具、資料等を入れておき、活動をする際に使用するという形だ。

【委員】2階のミーティングスペースというのは、どういうイメージか。

【委員】館の運営企画等を事務室の奥ではなくて、事務室より外側のこのスペースで行い、そこに若者や青少年を取り込んでいこうというイメージだ。

【委員】公園との絡み、駅とのつながり、出入り口を公園側に設けた点、屋外カフェ等、公園と一体化が図られており評価できる。メインライブラリーは、トップライトもあり、快適と思う。それぞれの階に吹き抜けがとってある点、上下階とのつながり等、プロポーザルの原案を生かしている。新聞・雑誌コーナーを上階に設置し、そこに人の流れをつくるという点は、よいアイデアだ。屋上庭園を北側にとったのは、公園側の日照を考えると、評価できる。

【委員】この施設は図書、情報だけではなく、体も動かす必要があるということで、プレイルームの要求が多数あった。しかし、これぐらいの広さでは小さい気もする。

【委員】もう少し大きいほうがよいと思う。このプレイルームのような階高がある部屋が1つあると、この施設の使い勝手がよくなる。

【委員】上下の移動については、エレベーターに依存しているが、ユニバーサルでこの考え方でよいと思う。現在3機となっているが、荷さばき用のエレベーターはイベントや家具の納品等に備えボリュームを少し大きくする必要がある。

【委員】公園については、南と北の商店街で別々にやっているお祭りなどを一体化してでき

るよう配慮していただきたい。緑への要求もあるし、中心市街地活性化事業の面もあるので、今後、公園を具体化する際には、それらの要素も考えていただきたい。

【委員】ワールド・マガジン・ラウンジは非常におもしろい試みで、この施設の特徴をあらわすものだ。今後、何を対象とするか、誰が決めるか等が重要な部分だ。

【事務局】選書については、今までの図書館のイメージと違い、専門書等も入ってくるので、キュレーターとか、専門分野の方に入ってもらったりとか、常に新しい情報も入れていく試みが必要と考えている。

【委員】マガジン等の選書は、非常に幅の広い部分なので、例えば市民からいろいろな要望を吸い上げたり、また雑誌の出入りもあるので、随時見直しを図るなど、そういうシステムが必要だ。

【委員】市在住の方の資料を集めるという武蔵野アーカイブスはどんな形になるのか。

【委員】アーカイブスの範囲が映像だけなのか、あるいは文章的なものも含めるか、今後詰めていくが、在住の方の情報やフォーラムで講演いただいた方の研究内容等が対象となる。それらをおもにデータとして蓄積し、パソコン等で提供していくというイメージだ。

【委員】この施設はブラウジングが重要で、例えば回遊しながら、壁面等に「武蔵野市で何々がある・・・」と掲示されていれば、自然に情報が得られ、それを次の行動につなげていくことができる。さまざまところに情報を提示し、あるいはアートを兼ねたものや市民の作品等を展示することも考えられる。

【委員】フォーラム（大会議室）は、大体200人ぐらいのスペースということだが、席の状態はどう考えているか。

【委員】イスはその活動にあわせ、色々な配置ができるようにしたい。このフォーラムは、会議室でもあり、広場的な場所、ラウンジというイメージも兼ね備えている。

#### (4) - 1 管理運営について

【委員長】管理運営について、事務局より説明する。

【事務局】この施設は、すべてを一体的・有機的に管理運営していく。また、生涯学習施設という性格から、教育委員会が所管となる。効率的、効果的な運営をするために、直営ではなく、指定管理者制度を活用していく。中央図書館や吉祥寺図書館についても、市の図書館として連携が必要であり、指定管理者制度を検討していく必要がある。既存の地域自由大学を含め生涯学習事業については、効率性や住民のサービス向上を考え、できるだけこの施設に移設し展開していきたい。公園についても一体的管理を行い、いろいろな面で連携を図っていきたい。

【委員長】管理運営の基本方針については、前回策定委員会の報告書に沿っており、新たに指定管理者制度の活用という点が加わったものと理解してよいか。

【事務局】そのとおりだ。

【事務局】この施設は教育委員会が所管する施設で、その関係で、教育委員会関連の外部団

体等を指定管理者に指定するという点を確認していただきたい。また、市民会館の事業や、あるいは地域自由大学を含めた本庁の生涯学習系の事業も統合していくということを実体的に盛り込んだ点が前回策定委員会よりさらに踏みこんだ部分になる。

【委員】全体的な流れは賛成だ。しかし、図書館の管理運営については、今までの図書館とは別な考え方をする必要があり、難しい部分だ。開館時間の延長や、通年開館等を考えると公務員ではなく、いわゆる事業団等が運営するのが適当と考える。また、この施設の図書館と、吉祥寺や中央図書館との連携をどうするかは、大きな問題と認識している。生涯学習事業の移管という点では、地域自由大学とか、土曜学校等の事業を質、量とも増やしたいという考えもあり、この施設の受け皿ができた際には、市民会館の事業や、既設の生涯学習事業もそちらに委託したほうがよいという考え方だ。

【委員】指定管理者制度については、中央や吉祥寺図書館との関係を考えて、いろいろ問題は出てくると思うが、利用者の利便性を考えるとその方向にならざるを得ない。

【委員】流れはそのとおりだが、教育委員会としては大変なものと認識している。

【委員】指定管理者制度のほうが、市民の要求に応えられるかもしれない。そうなれば、中央図書館も吉祥寺図書館もそれにどう合わせていくかという問題が出てくる。やはり、時代の要請に寄与していかなくてはいけないだろう。

【委員】管理運営とも関係するが、設計、ランニングコスト等相当な金額になると思うので、その点については十分留意して進めてほしい。

#### (4) - 2 中間まとめ

【委員長】最後に中間まとめに関し、事務局より説明をお願いしたい。

【事務局】この委員会の役割として、建設基本計画案を作成して、市長に報告するという前提があり、その範囲は具体的に施設機能とか規模、施設配置、管理運営方針等になってくる。これは、今後の基本設計、実施設計の基礎となるものだ。中間まとめの位置づけは、計画案の進行状況を公表し、市民から意見をいただき、そして、最終報告書に生かしていくということだ。公表の方法は、市報、ホームページ、資料コーナーによる公表で、市政センター等の市の施設にも中間まとめを置いていく。中間まとめについては、次回の委員会で議論いただき、12月の中旬までにまとめていきたいと考えている。

【委員】市民より意見を聴取するとあるが、どういう形ですか。

【事務局】それについては、手紙、メールあるいは電話で直接でもよいと考えている。

【委員】聴取するだけで、個々に回答はしないのか。

【事務局】個別の意見に対して、個別に回答するのではなくて、それを総合的に委員会で議論いただき、最終報告書という形でアウトプットしていく形になる。

【委員長】公表については、以上の方向でお願いしたい。

#### (4) - 3 ICタグ資料について

・「日経コンピューター10月4日号」、「三田図書館・情報学会資料」よりICタグについて説明。

・次回日程

第5回策定委員会 11月15日(月)午後6時30分、商工会館市民会議室